

『平針の里山』ニュース No.14

2011年10月20日(木)

発行：平針の里山保全協議会(代表：宗宮 弘明)

事務局：〒468-0020 天白区天白町平針黒石 2878 - 366

TEL/FAX：052-848-1721 Email: hirabarisatoyama@hotmail.co.jp

平針の里山に関する近隣住民アンケート結果のご報告

昨年10月末より平針の里山の開発工事が始まり、樹木に覆われていた土地が更地になってしまいました。約1年が経過し、環境の変化に伴い生活の中で感じられていることについて、平針の里山保全協議会は平針南区連合自治会と合同で近隣住民の声をアンケートの形で聞かせていただきました。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。集計結果が出ましたのでご報告します。(自由記載は抜粋しました)

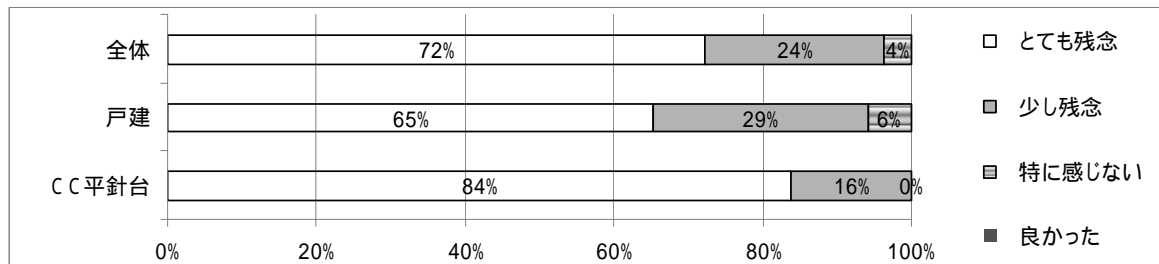
アンケート実施期間

2011(平成23)年9月

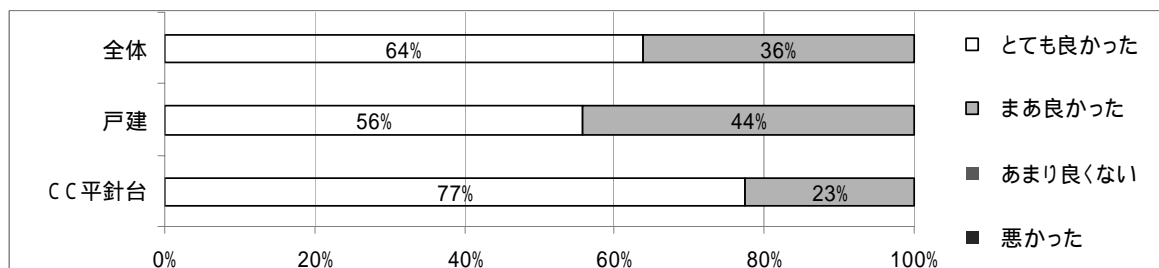
アンケート集計数

全体 / 83軒 戸建 / 52軒 CC平針台(シティコーポ平針台) / 31軒

1. 身近な森・里山がなくなってしまったことを、どのように感じますか？



2. 身近に森・里山がある生活を、どう思っていましたか？



<多く寄せられたキーワード>

四季の変化、季節のうつろい、四季折々 14

癒し効果、心の安らぎ、心豊か 11

景色、住環境としての魅力、身近な自然 11

朝の気持ちよさ 4

ムシ、動物、生き物(セミ、カブトムシ、クワガタ、トンボ、カミキリ、コオロギ、ザリガニ、タヌキ、ヘビ、キジ) 18

鳥のさえずり、ウグイスの鳴き声、鳥の姿 19

カエルの鳴き声 4

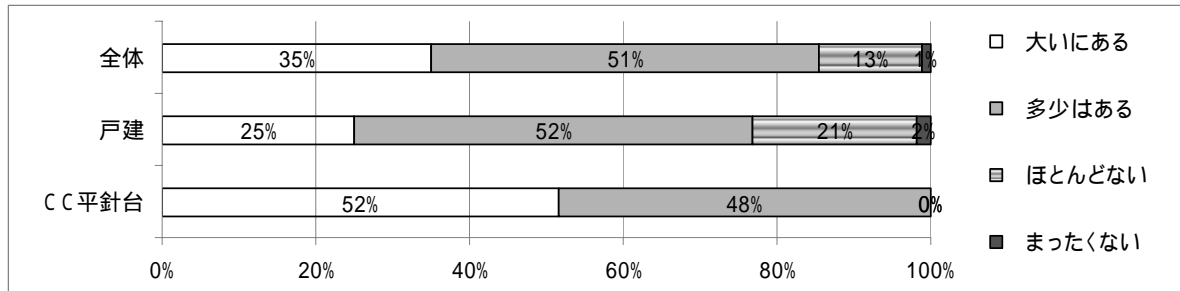
風がこちよい、空気がおいしい、夏涼しい 5

子どもに自然のよさを伝える、体験する 5

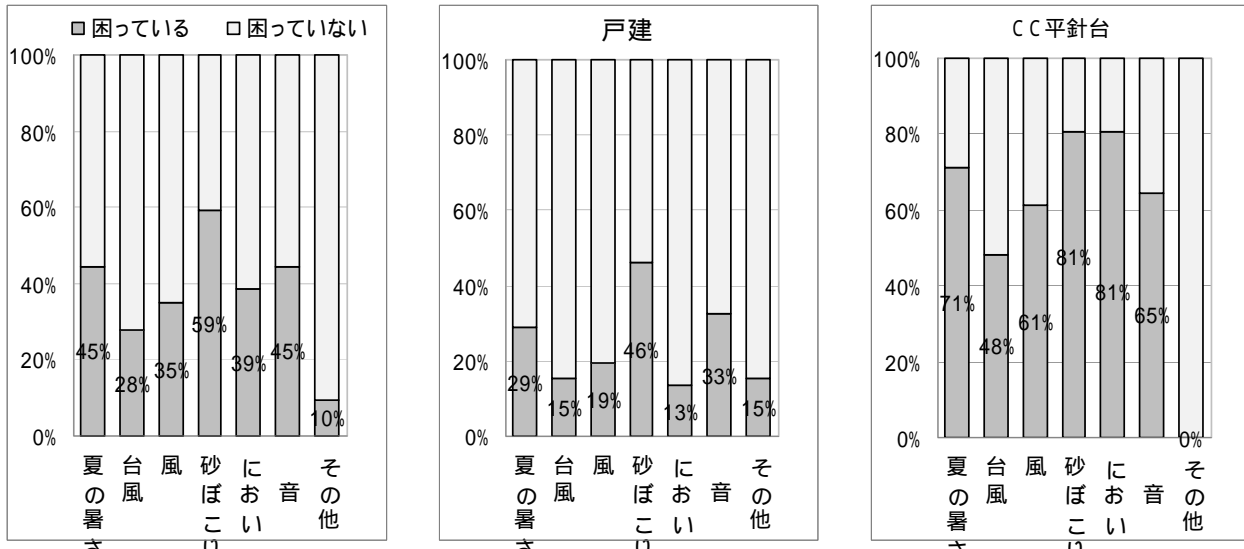


- ・こちらに引っ越してきた時も、緑の多い環境であったことも大きなポイントでした。また、このたび里山の問題が起きた後、すぐそばに有った里山の自然環境が、どれほど貴重なものであったかを、いろいろな専門家の方たちのお話を聞いて実感いたしました。世界中で環境問題が叫ばれる中、ましてやCOP10を行ったまさにその名古屋で、里山1つ守れなかったことはとても残念です。
- ・無くなって判る緑地の有難さ。まだ眼下に見える緑は何としても守って行きたい。
- ・季節の移ろいが目の前で感じられた(枯木に花<雪>、新緑、落葉、木の実)。一日が鳥のさえずり、穏やかな葉ずれの音、月光が葉を濡らし、深い森のにおいに包まれて夜がふける。ちょっとオーバーですが贅沢な自然が有りました。
- ・里山が有ったからその環境に惚れ込んで引っ越してきた。名古屋市内にこんな緑と自然にあふれた所が有ったのかと驚いた。四季折々に朝な夕なに自然の移ろいを、五感で味わい素晴らしい環境を謳歌させてもらっていた。南東に広がるうっそうとした森から受けた恩恵は計り知れない。他人の土地ながら、里山を失った意味の重大さを切実に感じている。
- ・名古屋の中にこんなに木々の山のある、小鳥のさえずり、おいしい空気、がある環境に心から感謝し幸せに思っていました。森の中の動物たち、虫たち、草や木や・・・沢山の生命がたたれてしまったことを悲しく思います。
- ・虫嫌いな私にとって、出会う機会が多いのは閉口し、秋に落ち葉がたくさん舞い込むのも困りましたが、蛙や虫の声、色々な鳥の姿などに癒されていた。森のたたくまいに安心感も有りました。
- ・ベランダの外を見ると四季を感じる事が出来ました。特に夏は森を通して来た風が心地好く夏場でもエヤコンを必要とませんでした。今では虫の声も少なくなり鳥の声も聞くことが出来ません。
- ・朝起きて窓を開けた時の空気の味がおいしくなくなった。
- ・鳥の鳴き声で目を覚ましたり、目の前の緑の豊かさは時として山の別荘にでも居るような感覚にさせるものでした。これが無くなって少しずつ精神面にダメージが来そうで心配です。
- ・ストレスの多い現代社会の中で、里山が身近にある生活は、ゆったりとした気持ちになれた。この癒し効果は、住環境として非常に価値が高かった。次世代を担う子どもたちにぜひ残したい環境ただだけに、里山の消失はとても悔いが残る事です。どうして守ることができなかったのか。子どもたちにどう説明すればいいのでしょうか？大人として、名古屋市民として、大変、愚かな選択をしたとしか思えません。恥ずかしいことです。
- ・里山が残っていた時は特に意識はなかった。
- ・生活に直接(目に見える)不便は感じませんが、里山が少なくなることは生態系や保水、温暖化等の自然に影響があると思われます。
- ・静かで空気がきれいな感じだったが、更地になってしまい残念です。この先住宅が増えると、車が多くなると思われるので子供の通学に不安を感じています。
- ・広い範囲の緑が消えて殺伐とした感じがする。やはり、生活の周りに緑があると心穏やかになる。
- ・特に湧水の池は貴重で残してほしかった。
- ・最初は中に入れるとは知らず、案内してもらって歩いてみたら、なんと幻想的で自然がそのまま残っていて中に入るととても気持ちが癒された。空気がきれいで、本当に別世界に来たような気がして、もうそんな場所が無くなってしまったことはとても残念です。
- ・10年前に千種から引っ越して来ましたが、毎年キジを見られ鳴き声も聞くことが出来ました。春は藤、つつじ、秋はススキ、トンボ、etc、自然そのものにビックリ。楽しく季節の変化を9歳、7歳、5歳の孫も興味を持ち喜んでいたところです。

3 .環境が変化して、困ったことはありましたか？



4 .どのようなことで困りましたか？(あてはまるものはすべて選んでください)



< 環境の変化に対する困りごと >

- ・里山の森が無くなり、雨、風、が強くとストレートに当たり太陽の直射日光も鋭くなりました。今まで森が雨、風、光、を受け止めて緩やかにやさしいものにしてくれたことに気づきました。無くなって、森に守られていたんだなと感じました。
- ・木々が無くなり暑さを一層感じます。台風の風当たりも強くなると思います。これからどのようになるのかとても不安です。
- ・特に大雨の時、水の流れがひどく側溝からあふれ出てしまう。
- ・台風の時、防風林の役をしていたので無くなってから、台風や強風の時は窓がガタガタして怖い時がある。
- ・ベランダの植木鉢のプランターの植物が強風にあおられて枯れてしまいます。この春、苗木を3本植えたが結局ダメであきらめた。地上ではさほど強いと感じない風でも、真夏の暑さなかでも、窓を開けると「ピューー！」と風の唸り音が鳴り響き、部屋のものが舞い飛び開けられません。窓の全開はとても出来ませんが、少しだけ開けることもできません。暑くて窓が開けられないのは、堪えます。平時でもこうですから台風時にはどうなるかと、恐怖感を覚えます。
- ・それが原因かは分かりませんが、カラスの被害が多くなりました。
- ・この工事のせいではないかもしれませんが、いろんなハチが家のまわりに沢山いて恐いです。
- ・木を切ったことにより、風に抵抗する物が無くなり、家に来る風がとても強く、洗濯物や、庭に置いてあるものなどが近所さんの方へ、柵を超えて飛んでいくことが多々あります。また、家の近くに居るはずのないヘビが居たり、タヌキが子どもの通学路に出たり、少し迷惑しています。
- ・森(里山)が無くなって空気の質が変わった。車の音もよく聞こえるようになった。
- ・緑が(里山)が無くなったせいか、暑さが余計に感じられた。
- ・空気がちがいますね。3 位ちがうと思います。
- ・里山が有ったほうから見やすくなった為、カーテンが必要になった。

< 工事に関する困りごと >

- ・砂ぼこりと臭いも感じることもある。あまりの悪臭に洗濯物や布団が干せません。かなりストレスを感じます。窓を開けることもできないので、エアコンを付けっ放しにします。電気代も高くなり、本当に迷惑です。
- ・ヘッド臭に閉口しています。家に居ることが出来ないくらいのおい臭いです。何度も臭いの為に外出しました。また、砂ぼこりも酷いです。掃除がおいつきません。かなりのストレスを感じています。
- ・風が強くなってきて、リビングのドアが”バーン”と閉まってガラスが割れました。においはものすごく臭いです。どうにかして下さい。砂ぼこりで、のどがイガイガします。子どもが最近クシャミをすごくするようになった。
- ・工事が始まってからは、工事現場の方向である南側の窓ガラス・ベランダ・洗濯物への砂ぼこりがとても気になります(今でも...)。工事現場に近い側の駐車場の車の土埃の汚れもあります。また、この夏から悪臭が耐えられない日が多々あります。どうかすると、朝早くから臭うのですが、何とかならないでしょうか？お客様にも来ていただけません(この臭いは予想外のものでした。)
- ・臭いが特に困ります。のどに違和感を覚え自然と咳が出ます。南のベランダ側は今までより強く風雨が当たるようになり、窓があまり開けられなくなりました。小さな破壊の連鎖の行く末が恐ろしいです。
- ・心地よい風を室内に入れることは工事完了するまでは望めませんが、完了後も以前の環境は取り戻せない。住民パワーを発揮すれば土曜工事作業など何とかするのは...
- ・臭いは想定外で...。8時半～5時までとはいかないので厄介です。
- ・工事のための音がひどく、8:30～5:00まで、ひどく疲れる。風向きによって悪臭がする。埃や音の対策、防音壁など作ってもらいたい。
- ・終日機械音が鳴り響き、テレビのボリュームを上げないと聞こえない。電話がかかってきても、聞き取れない。電話をかけるのは工事のない昼休みと、不便極まりない。8月3日深夜、午前3時前ポンプ稼働のような音で目が覚めた。以降鳴りやまず思い余って110番通報した。恐らく、水を排出させるためのポンプが自動的に作動したことによるものではと思う。
工事による近隣の道路のひどい陥没や、また今後、自然災害が起こった時、里山工事で切り崩したり、土を盛った土地によるマンションへの影響がとても気になります。
- ・土曜日まで作業(工事)をしては困る。
- ・何の臭いでしょうか、暑い中ベランダ側も閉め切っています。洗濯物にも臭いがつくように思い、外に干すのを控えています。砂ぼこりがすごいです。道路だけは造らないで下さい。
- ・車に多量の砂ぼこりが積もっているということは、我々人間も多量の砂ぼこりを吸っている可能性があると思います。また、今後車の出入りが多くなると危険、騒音や空気汚染等、心配です。
- ・夜勤で寝ている時に、重機の振動で家が揺すれ、うるさくて寝られない。地熱の暑さを感じられる。空気が変わったので住みにくくなった。
- ・工事の音がライオンズマンションに当たり反響して余計うるさく聞こえます。
- ・道路がガタガタになってしまった。また汚れている。

地域の傍にあった森・里山がなくなると、生活にどんな影響があるのか。実際に経験したからこそ語れる言葉がたくさんありました。このアンケート結果は貴重なデータとして有効に活用したいと考えています。また、ホームページ・ブログ・twitter等にも掲載しますので、ぜひご覧ください。

